

3 大桑住宅団地



1号棟

大桑県営住宅は「石川県新住宅マスタープラン」を受け、今後の県営住宅建設のモデルとなるよう「環境共生住宅」という良好な生活環境を維持することを目的として建設を行っており、周辺環境への配慮や、循環型社会への対応といった様々な工夫を取り入れている。

住戸は全戸バリアフリー対応としており、トイレや浴室への手すりの設置の他、緊急通報システムを配備する等、子供からお年寄りまで安全に暮らせるように計画している。

住戸タイプは1DK・2DK・3DK・3LDKに車椅子仕様、高齢者仕様のを備えることで、家族構成に応じた生活に対応できるものとしている。団地中央部には集会所を配置し、その中には団地内住民の憩いの場としての生活団欒室が設けられている。また、敷地内には児童遊園を配置し、子供たちが安全に遊べる空間の提供も行っている。



DK(車いす住戸)



和室



2号棟







せせらぎ空間



集会所 太陽光パネル設置

- せせらぎ空間** : 敷地内に雨水を利用したビオトープを設置し、住民への安らぎの空間を提供している。また、そこに繁殖する様々な生態系を子供たちに観察できるようにしている。
- 自然エネルギーの利用** : 集会所上部に設置した太陽光パネルにより、前述のビオトープの雨水を循環利用する為のエネルギーとしている。
- 壁面緑化** : 外壁面にワイヤーロープを設置することで、シダ植物等が壁面を包み、建物全体に柔らかな安らぎのイメージを創出している。

-  : 外断熱の採用による新省エネ基準(断熱性能)の達成
-  : スケルトンインフィル住宅とし、内装や設備の更新・変更性に配慮さや管ヘッダー工法※の採用 (※スケルトンインフィル P73参照)
-  : 瓦葺屋根に県産瓦を使用
-  : 全ての住戸において、段差解消・手すりの設置・引き戸の採用
高齢者向けユニットバスを採用

DATA

金沢市大桑町地内 平成14年10月～平成17年7月 9,428㎡
5号棟 RC造：4F 27戸 2,070㎡
6号棟 RC造：4F 38戸 2,663㎡
1号棟 RC造：4F 35戸 2,732㎡
2号棟 RC造：4F 26戸 1,962㎡